

山形大学附属小学校 資質・能力系統表

2022.04.05 時点 研究部

附属学校園 将来構想テーマ	広い視野と高い志を持ち、「共生社会」を創造的に生き抜く子どもの育成		
学校教育目標	「太陽の子」本質を見極める 「北国の子」強い意志をもつ 「日本の子」高い価値を目指す		
研究主題	自ら問題解決を進める子ども		
資質・能力の 3つの柱	生きて働く 「知識・技能」	未知の状況にも対応できる 「思考力・判断力・表現力等」	学びを人生や社会に生かそうとする 「学びに向かう力・人間性」
育成を目指す 資質・能力の観点	・自分の学びを自分なりの方法でまとめる力 ・これまでの学びと新しい学びをつなげ、とらえを更新する力	・問題場面から、課題を設定する力 ・見通しをもって問題解決の歩みをデザインする力 ・さまざまな情報から、目的や状況に応じた情報を選択する力	・粘り強く問題解決に取り組む力 ・お互いの持ち味を認め、ともに問題解決を図ろうとする力 ・学びを振り返り、自分に適した学びを調整する力
高学年	☐ 客観的な事実や資料、言葉・絵・図・グラフ・表などを使いわけて相手に自分の考えをまとめることができる。 ☐ 学習の中で得た知識・技能と既習の知識・技能を関連付けて、各教科に <u>主要な概念を理解し、他の学習・生活でも活用することができる。</u> (例) 各教科に主要な概念 社会…分業、 理科…条件制御などを、必要に応じて使いこなすというこ ろ。	☐ 問題場面にあった考え方をして、課題をはっきりさせることができる。 ☐ 情報の出どころなどを確かめ、信憑性の高い情報を集めることができる。 ☐ 問題を解決する方法を複数考え、自分がすべきことを決めることができる。 ☐ 目的や状況に応じて、考えの根拠を示しながら表現することができる。 ＜主に高学年で使っていきたい考え方＞ 具体化する（個別化する、分解する）、抽象化する（一般化する、統合する）、構造化する等	☐ 自分と関りのある身の回りの人・もの・ことのためになることをしようとする。 ☐ 困難な課題にも、粘り強く取り組もうとする。 ☐ 自分と友達の個性を理解し、自分にできること、友達に任せるこ とを分けて考え、協力して活動を進めることができる。 ☐ 自分の学びの状況を把握し、自分にあった学習内容・方法を考え ようとする。
中学年	☐ 自分の考えの根拠を明らかにして、言葉・絵・図・グラフ・表など の方法から選んでまとめることができる。 ☐ 学習の中で得た知識・技能を、他の学習・生活でも活用していく ことができる。	☐ 「なぜだろう？」という気付きから、課題をはっきりさせること ができる。 ☐ 文献、ICT 機器を活用して情報を集めることができる。 ☐ 問題を解決するために自分がすべきことを決めることができ る。 ☐ 目的や状況に応じて、考えを明確に伝えることができる。 ＜主に中学年で使っていきたい考え方＞ 比較する、分類する、順序付ける、関連付ける、多面的・多角的に 見る、理由づける（原因や根拠を考える）、見通す（結果を予想す る）等	☐ 自分と関りのある身の回りの人・もの・ことを大切にしようとし る。 ☐ 課題に粘り強く取り組もうとする。 ☐ 自分の役割をはたし、友達と協力して活動を進めることができる。 ☐ 自分の学びを振り返り、自分の変容を自覚することができる。
低学年	☐ 自分の考えや思いを伝える方法を言葉・絵・図などの方法から選 んでまとめることができる。 ☐ 自分の生活や遊びの中で得た知識・技能を学習につなげて、新し い知識・技能を身に付けることができる。	☐ 見付ける、比べる、たとえるなどして、「なぜだろう？」と考える ことができる。 ☐ 試す、見通す、工夫するなどして、自分の思いや願いを表現する ことができる。 ☐ 自分の思いや願いを叶える方法を選ぶことができる。	☐ 自分から身の回りの人・もの・ことに関わることをたのしむこと ができる。 ☐ 友達の気付きや考えのよさを大切にして、仲良く活動することが できる。 ☐ 自分ががんばれたこと、次に頑張りたいことを振り返ることがで きる。